

平成30年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月9日

上場会社名 サイジニア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6031 URL <http://www.scigineer.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 吉井 伸一郎  
 問合せ先責任者（役職名） 経営管理部長（氏名） 石塚 雅一（TEL）050-5840-3147  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年6月期第1四半期の業績（平成29年7月1日～平成29年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	147	△4.5	△24	—	△24	—	△25	—
29年6月期第1四半期	154	△26.4	△34	—	△35	—	△35	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	△12.18	—
29年6月期第1四半期	△17.26	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	706	637	89.0
29年6月期	730	655	88.8

（参考）自己資本 30年6月期第1四半期 628百万円 29年6月期 648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年6月期	—				
30年6月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720	18.8	△94	—	△95	—	△96	—	△46.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年6月期1Q	2,061,985株	29年6月期	2,054,785株
30年6月期1Q	－株	29年6月期	－株
30年6月期1Q	2,056,350株	29年6月期1Q	2,048,978株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3、「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、個人消費や設備投資が持ち直し、企業収益や雇用環境も改善しております。

また先行きについても、雇用・所得環境の改善や海外経済の緩やかな回復等を背景に持ち直しが続くと期待されておりますが、政策に関する不確実性による影響などに留意する必要があります。

当社が関連するインターネット広告市場においては、平成28年の広告費(注)が1兆3,100億円となるなど引き続き堅調な成長が続いており、特にデータやテクノロジーを重要視する広告主が増加しております。

(注) 株式会社電通「2016年日本の広告費」平成29年2月23日

このような環境のなかで、当社は、パーソナライズ・エンジン「デクワス」をコアとする各サービスを提供し、顧客企業のインターネットを介したマーケティング活動支援に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間は、既存サービス分野における安定受注と採算性の向上を図るとともに、新規サービス分野における企画・開発を積極的に推進いたしました。

既存サービス分野では、「デクワス.RECO」等の利益を確保できるプロダクトについて、継続受注に注力いたしました。また、前事業年度から進めていた「ソリューションビジネス」へ移行する体制整備が完了したため、新規受注による利益の拡大に注力いたしました。さらに、すでにご提供を開始しているファッションAIアプリ「PASHALY(パシャリイ)」につきましても、機能を追加して刷新いたしました。

新規サービスとして、「デクワス.VISION」の提供を開始しました。「デクワス.VISION」は、「PASHALY(パシャリイ)」にも活用されている画像解析エンジンによるビジュアルコマースサービスです。画像が商品訴求のカギになる商材において、自分好みのデザインをずらりと並べて理想の一品を見つけられるショッピング体験を提供することにより、収益の拡大を進めてまいります。

コスト面では、上記新規サービス分野へ計画通り先行投資しつつも、前事業年度に引き続き、外注費用の削減等、全社的なコスト抑制の取り組みを継続いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は147,326千円(前年同四半期比4.5%減)、営業損失は24,444千円(前年同四半期は営業損失34,909千円)、経常損失は24,599千円(前年同四半期は経常損失35,170千円)、四半期純損失は25,045千円(前年同四半期は四半期純損失35,360千円)となりました。

代表取締役をはじめとする取締役の役員報酬については、その経営責任を明確にするとともに、業績向上を期すべく前事業年度以上の減額を継続しております。

当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より24,043千円減少し、687,192千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の減少38,135千円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より10千円減少し、18,985千円となりました。その内訳は、投資その他の資産の減少10千円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より5,338千円減少し、62,975千円となりました。その主な内訳は、その他に含まれている未払費用の減少5,123千円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より11千円増加し、6,134千円となりました。その内訳は、資産除去債務の増加11千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より18,726千円減少し、637,067千円となりました。その主な内訳は、利益剰余金の減少25,045千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期通期の業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	651,122	612,986
売掛金	54,428	61,780
仕掛品	—	6,111
その他	6,512	7,146
貸倒引当金	△827	△834
流動資産合計	711,235	687,192
固定資産		
投資その他の資産		
その他	20,979	20,969
貸倒引当金	△1,984	△1,984
投資その他の資産合計	18,995	18,985
固定資産合計	18,995	18,985
資産合計	730,231	706,177
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,064	32,010
未払法人税等	4,780	2,012
その他	38,469	28,952
流動負債合計	68,314	62,975
固定負債		
資産除去債務	6,122	6,134
固定負債合計	6,122	6,134
負債合計	74,437	69,110
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	778,776	781,101
資本剰余金	775,775	778,101
利益剰余金	△906,002	△931,048
株主資本合計	648,549	628,154
新株予約権	7,244	8,912
純資産合計	655,793	637,067
負債純資産合計	730,231	706,177

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	154,343	147,326
売上原価	102,657	108,393
売上総利益	51,686	38,932
販売費及び一般管理費	86,595	63,377
営業損失(△)	△34,909	△24,444
営業外収益		
受取利息	28	16
その他	63	18
営業外収益合計	91	34
営業外費用		
支払利息	39	6
支払手数料	183	182
その他	129	0
営業外費用合計	352	189
経常損失(△)	△35,170	△24,599
特別損失		
減損損失	-	208
特別損失合計	-	208
税引前四半期純損失(△)	△35,170	△24,808
法人税、住民税及び事業税	237	237
法人税等調整額	△46	-
法人税等合計	190	237
四半期純損失(△)	△35,360	△25,045

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「インターネットマーケティング支援事業」のみであり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。